

- 1、1' ガラス基板
- 2、2' 透明電極
- 3、3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタパターン
- 6 ブラックマトリクス
- 17 柱状樹脂パターン
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 10 カラーフィルタ基板
- 11 アレイ基板
- 12 コンタクトホール
- 15 平坦化樹脂膜

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子が形成される T F T アレイ基板上に樹脂膜を形成し、前記樹脂膜に形成されるコンタクトホールにより、前記スイッチング能動素子と、前記樹脂膜上に形成される画素電極とをコンタクトさせ、前記 T F T アレイ基板とこれに対向する対向基板との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターンを形成し、前記パネルギャップに液晶を封止する液晶表示装置であって、前記コンタクトホールの全部または一部に充填された状態で、コンタクトホール部位を覆うように前記柱状樹脂パターンを形成することを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】 樹脂膜がカラーフィルタである請求項 1 記載の液晶表示装置。

【請求項 3】 (コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) である請求項 1 記載の液晶表示装置。

【請求項 4】 (コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) である請求項 2 記載の液晶表示装置。

【請求項 5】 液晶ディスプレイ方式が T N 方式である請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の液晶表示装置。

【請求項 6】 液晶ディスプレイ方式が I P S 方式である請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の液晶表示装置。

【請求項 7】 光配向により配向処理する請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の液晶表示装置。

【請求項 8】 画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子が形成される T F T アレイ基板上に樹脂膜を形成し、前記樹脂膜に形成されるコンタクトホールにより、前記スイッチング能動素子と、前記樹脂膜上に形成される画素電極とをコンタクトさせ、前記コンタクトホールの全部または一部に充填される状態で、コンタクトホール部位を覆うように、前記 T F T アレイ基板とこれに対向する対向基板との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターンを形成することを特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【請求項 9】 請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の液晶表示装置を有する画像表示応用機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、液晶表示装置およびその製造方法ならびに画像表示応用機器に関する。

【0002】

【従来の技術】液晶表示装置は主要な表示デバイスとして、特に小型、軽量性が要求される用途を中心に幅広く使用されている。液晶表示装置は、図 5 に示すように、画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子 4 が形成されたアレイ基板 11 とカラーフィルタパターン 5, 6 が形成されたカラーフィルタ基板 10 との間に液晶 8 を封入してなる液晶表示装置である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】近年、大型モニター、テレビ用途等、従来 C R T が使用されていたデバイス分野への液晶の応用の試みがなされるに伴い、液晶表示装置には更なる性能向上が要求されている。特に、レントゲン写真表示等の医療用途、インターネット商取引への液晶パネルの応用展開に際し、高輝度、高精細、かつ、表示むらが皆無な高品位液晶パネルが要求されている。しかしながら、従来の液晶パネルは、カラーフィルタに形成されたブラックマトリクスによる遮光のため高輝度と高精細の両立が困難であった。また、パネルギャップ制御に用いるビーズスペーサのカラーフィルタ膜への食い込みに起因する表示むらが見られ、上記用途に使用するには十分な性能とは言えなかった。

【0004】このような背景の元、高輝度・高精細の両立を目的とし、画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子が形成された T F T アレイ基板上に平坦化樹脂膜、あるいは、カラーフィルタパターンを形成する試みが行なわれている。また、パネルギャップ均一性向上を目的とし、画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子が形成された T F T アレイ基板、または、カラーフィルタ基板等の対向基板にあらかじめパネルギャップ形成のための柱状樹脂パターンを形成する試みが活発に行なわれている。

【0005】しかしながら、これらの 2 つの技術を組み合わせ形成したパネルにおいて、微細な表示むらが発生する事が判明した。

【0006】このような課題を解決するため、検討を加えた結果、表示むらは以下の現象に起因する事が判明した。

【0007】それは柱状樹脂パターンの剥がれによるギャップばらつきに起因する。

【0008】したがって、この発明の目的は、柱状樹脂パターンの基板への密着度を向上させることで、柱状樹脂パターンの剥がれを抑制し、表示むらをより低減できる液晶表示装置およびその製造方法ならびに画像表示応用機器を提供する。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためにこの発明の請求項 1 記載の液晶表示装置は、画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子が形成される T F T アレイ基板上に樹脂膜を形成し、前記樹脂膜に形成されるコンタクトホールにより、前記スイッチング能動素子と、前記樹脂膜上に形成される画素電極とをコンタクトさせ、前記 T F T アレイ基板とこれに対向する対向基板との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターンを形成し、前記パネルギャップに液晶を封止する液晶表示装置であって、前記コンタクトホールの全部または一部に充填された状態で、コンタクトホール部位を覆うように前記柱状樹脂パターンを形成する。

【0010】このように、コンタクトホール全部または一部に充填された状態で、コンタクトホール部位を覆うように柱状樹脂パターンを形成するので、コンタクトホール部位上に柱状樹脂パターンが重ねて形成され、柱状樹脂パターンの基板への密着度が向上し、同時に基板表面段差が低減し、段差起因の液晶配向乱れを防止する。これにより、むらの無い高い表示品位の実現が可能となる。

【0011】請求項2記載の液晶表示装置は、請求項1において、樹脂膜がカラーフィルタである。このように、樹脂膜がカラーフィルタであるので、カラーフィルタオンアレイ型液晶表示装置において請求項1の効果が得られる。

【0012】請求項3記載の液晶表示装置は、請求項1において、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) である。このように、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) であるので、柱状樹脂パターンのアレイ基板側への取付強度がより強く剥がれが生じない。

【0013】請求項4記載の液晶表示装置は、請求項2において、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) である。このように、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) であるので、柱状樹脂パターンのアレイ基板側への取付強度がより強く剥がれが生じない。

【0014】請求項5記載の液晶表示装置は、請求項1から請求項4のいずれかに記載の液晶表示装置において、液晶ディスプレイ方式がTN方式である。このように、液晶ディスプレイ方式がTN方式である液晶表示装置に適用できる。

【0015】請求項6記載の液晶表示装置は、請求項1から請求項4のいずれかに記載の液晶表示装置において、液晶ディスプレイ方式がIPS方式である。このように、液晶ディスプレイ方式がIPS方式である液晶表示装置に適用できる。

【0016】請求項7記載の液晶表示装置は、請求項1から請求項4のいずれかに記載の液晶表示装置において、光配向により配向処理する。このように、光配向により配向処理する液晶表示装置に適用できる。

【0017】請求項8記載の液晶表示装置の製造方法は、画素電極を駆動するためのスイッチング能動素子が形成される TFT アレイ基板上に樹脂膜を形成し、前記樹脂膜に形成されるコンタクトホールにより、前記スイッチング能動素子と、前記樹脂膜上に形成される画素電極とをコンタクトさせ、前記コンタクトホールの全部または一部に充填される状態で、コンタクトホール部位を覆うように、前記 TFT アレイ基板とこれに対向する対向基板との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターンを形成する。

【0018】このように、コンタクトホールの全部また

は一部に充填される状態で、コンタクトホール部位を覆うように、TFTアレイ基板とこれに対向する対向基板との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターンを形成するので、柱状樹脂パターンの基板への密着度が向上し、同時に基板表面段差が低減し、段差起因の液晶配向乱れを防止する。これにより、むらの無い高い表示品位の実現が可能となる。

【0019】請求項9記載の画像表示応用機器は、請求項1から請求項7のいずれかに記載の液晶表示装置を有する。このように、請求項1から請求項7のいずれかに記載の液晶表示装置を有するので、高輝度、高精細、かつ、表示むらが皆無な高品位液晶パネルが要求される画像表示応用機器に利用できる。

【0020】

【発明の実施の形態】この発明の第1の実施の形態を図1に基づいて説明する。図1はこの発明の第1の実施の形態の液晶表示装置の構造を示す断面図である。

【0021】図1に示すように、この液晶表示装置は、画素電極(透明電極2)を駆動するためのスイッチング能動素子4が形成された TFT アレイ基板11上に平坦化樹脂膜15を形成し、平坦化樹脂膜15に形成されたコンタクトホール12により、スイッチング能動素子4と、平坦化樹脂膜15上に形成された画素電極2とをコンタクトさせ、TFTアレイ基板11とこれに対向する対向基板(カラーフィルタ基板10)との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターン17を形成し、パネルギャップに液晶8を封止した構成である。柱状樹脂パターン17は、コンタクトホール12の全部または一部に充填された状態で、コンタクトホール12部位を覆うように形成される。

【0022】この場合、平坦化樹脂膜15を形成したアレイ基板11とカラーフィルタ基板10を配向処理し、一定の密度で配置した柱状樹脂パターン17によりセルギャップを制御し、シール剤9により前記配向処理を施した2枚の基板10, 11を接着し、かつ、シール剤9により液晶8を封止した構成からなっている。図中2, 2'は透明電極、3, 3'はポリイミド配向膜、5はカラーフィルタパターン、6はブラックマトリクスである。また、柱状樹脂パターン17はコンタクトホール12上に、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) となるように形成されている。すなわち、柱状樹脂パターン17はコンタクトホール12の内部に埋め込まれる基端部17aと一体に形成され、コンタクトホール12より上方に形成される柱状樹脂パターン17の径がコンタクトホール12の径より大きく形成される。

【0023】次にこの液晶表示装置の製造方法について説明する。TFTアレイ基板11上に平坦化樹脂膜15を形成し、平坦化樹脂膜15に形成されるコンタクトホール12により、スイッチング能動素子4と平坦化樹脂膜15上に形成された画素電極2とをコンタクトさせ、

コンタクトホール 12 部位を覆うように柱状樹脂パターン 17 を形成する。

【0024】この発明の第 2 の実施の形態を図 2 に基づいて説明する。図 2 はこの発明の第 2 の実施の形態の液晶表示装置の構造を示す断面図である。図 2 に示すように、この液晶表示装置は、第 1 の実施の形態において、対向基板側にカラーフィルタパターンを設けず、平坦化樹脂膜の代わりにカラーフィルタパターンを設けるカラーフィルタオンアレイ型液晶表示装置である。

【0025】この場合、TFT アレイ基板上にカラーフィルタパターン 5、6 を形成し、カラーフィルタオンアレイ基板 13 と対向基板 14 を配向処理し、一定の密度で配置した柱状樹脂パターン 17 によりセルギャップを制御し、シール剤 9 により前記配向処理が施される 2 枚の基板 13、14 を接着し、かつ、シール剤 9 により液晶 8 が封止される構造からなっている。図中 2、2' は透明電極、3、3' はポリイミド配向膜、6 はブラックマトリクスである。また、柱状樹脂パターン 17 は、第 1 の実施の形態と同様にコンタクトホール 12 上に、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) となるように形成されている。

【0026】次にこの液晶表示装置の製造方法について説明する。TFT アレイ基板 11 上にカラーフィルタパターン 5 を形成し、カラーフィルタパターン 5 に形成されるコンタクトホール 12 により、スイッチング能動素子 4 とカラーフィルタパターン 5 上に形成された画素電極 2 とをコンタクトさせ、コンタクトホール 12 部位を覆うように柱状樹脂パターン 17 を形成する。

【0027】

【実施例】この発明の実施例 1 について説明する。TFT アレイ基板上に、平坦化樹脂膜 (PC335、JSR (株) 製) パターンを形成後、画素 ITO 電極パターンを蒸着により形成する。次に、パネルギャップ形成のための柱状樹脂 (NN700、JSR (株) 製) パターンを、前記平坦化膜パターンのコンタクトホール部位に重ねて、3 画素に 2 個の密度で形成する (図 1)。この際、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) になるようにパターンを設計する。前記基板に、さらに配向膜パターンを形成、ラビングによる配向処理を施した後、同様に配向処理が施される対向カラーフィルタ基板とをシール樹脂を介し張り合わせ、空セルを形成する。空セルに真空注入法により液晶注入後、封口を行ない液晶パネルを作製する。この液晶パネルの表示むらを目視評価する。結果を、表 1 に示す。

【0028】この発明の実施例 2 について説明する。TFT アレイ基板上に、カラーレジスト (CM7000、富士フィルムオーリン (株) 製) をスピンコート法で塗布し、露光、現像する事により、カラーフィルタパターンを形成後、画素 ITO 電極パターンを蒸着により形成する。次に、パネルギャップ形成のための柱状樹脂 (N 50

NN700、JSR (株) 製) パターンを、前記カラーフィルタパターンのコンタクトホール部位に重ねて、3 画素に 2 個の密度で形成する (図 2)。この際、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) になるようにパターンを設計する。前記基板に、さらに配向膜パターンを形成、ラビングによる配向処理を施した後、同様に配向処理が施される対向基板とをシール樹脂を介し張り合わせ、空セルを形成する。空セルに真空注入法により液晶注入後、封口を行ない液晶パネルを作製する。この液晶パネルの表示むらを目視評価する。結果を表 1 に示す。

【0029】比較例 1 について説明する。図 3 に示すように、TFT アレイ基板 11 上に、平坦化樹脂膜 (PC335、JSR (株) 製) パターン 15 を形成後、画素 ITO 電極パターン 2 を蒸着により形成する。次に、パネルギャップ形成のための柱状樹脂 (NN700、JSR (株) 製) パターン 7' を、前記平坦化膜パターン 15 のコンタクトホール 12 部位に重ならないように、3 画素に 2 個の密度で形成する。この際、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) になるようにパターンを設計する。前記基板 11 に、さらに配向膜パターン 3 を形成、ラビングによる配向処理を施した後、同様に配向処理が施される対向カラーフィルタ基板 10 とをシール樹脂 9 を介し張り合わせ、空セルを形成する。空セルに真空注入法により液晶注入後、封口を行ない液晶パネルを作製する。この液晶パネルの表示むらを目視評価する。結果を、表 1 に示す。

【0030】比較例 2 について説明する。図 4 に示すように、TFT アレイ基板 13 上に、カラーレジスト (CM7000、富士フィルムオーリン (株) 製) をスピンコート法で塗布し、露光、現像する事により、カラーフィルタパターン 5 を形成後、画素 ITO 電極パターン 2 を蒸着により形成する。次に、パネルギャップ形成のための柱状樹脂 (NN700、JSR (株) 製) パターン 7' を、前記カラーフィルタパターン 5 のコンタクトホール 12 部位に重ならないように、3 画素に 2 個の密度で形成する。この際、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) になるようにパターンを設計する。前記基板 13 に、さらに配向膜パターン 3 を形成、ラビングによる配向処理を施した後、同様に配向処理が施される対向基板 14 とをシール樹脂 9 を介し張り合わせ、空セルを形成する。空セルに真空注入法により液晶注入後、封口を行ない液晶パネルを作製する。この液晶パネルの表示むらを目視評価する。結果を表 1 に示す。

【0031】比較例 3 について説明する。TFT アレイ基板上に、平坦化樹脂膜 (PC335、JSR (株) 製) パターンを形成後、画素 ITO 電極パターンを蒸着により形成する。次に、パネルギャップ形成のための柱状樹脂 (NN700、JSR (株) 製) パターンを、前記平坦化膜パターンのコンタクトホール部位に重ねて、

3画素に2個の密度で形成する。この際、(コンタクトホール径) > (柱状樹脂パターン径) になるようにパターンを設計する。前記基板に、さらに配向膜パターンを形成、ラビングによる配向処理を施した後、同様に配向処理を施した対向カラーフィルタ基板とをシール樹脂を介し張り合わせ、空セルを形成する。空セルに真空注入法により液晶注入後、封口を行ない液晶パネルを作製する。この液晶パネルの表示むらを目視評価する。結果を、表1に示す。

【0032】比較例4について説明する。TFTアレイ基板上に、カラーレジスト(CM7000、富士フィルムオーリン(株)製)をスピンコート法で塗布し、露光、現像する事により、カラーフィルタパターンを形成後、画素ITO電極パターンを蒸着により形成する。次*

	実施例 1	実施例 2	比較例 1	比較例 2	比較例 3	比較例 4
柱状樹脂 パターン径 μm	20	20	20	20	10	10
コンタクト ホール径 μm	10	10	10	10	15	15
むら評価結果	○	○	×	×	×	×

【0034】この実施例では、コンタクトホール12の部分にも柱状樹脂パターン17の一部分が充填されているので、柱状樹脂パターン17のアレイ基板側への取付け強度が、より強く(食い付きが良い)ので、機械的強度に有利で、長期信頼性向上にも好ましい。

【0035】また、小型高精細度の液晶パネルでは、特性向上が著しく本発明のコスト面でのデメリットをカバーすることができて、産業的価値が大きい。

【0036】なお、液晶ディスプレイ方式がTN方式、IPS方式の液晶表示装置に適用できる。また、光配向(ラビングレス; 機械的手段で配向しない)により配向処理してもよい。

【0037】また、柱状樹脂パターンのスペーサの数(単位面積当たり)が多過ぎると、低温気泡が発生する不具合があり、少な過ぎると温度変化によるギャップ変化が、表示性能に不具合がある。そのため、柱状樹脂パターンのスペーサの数は、液晶材料やスペーサの材質や、液晶パネルの構成等の条件で最適値があり、実験や構造シミュレーションで最適値を見出すことを設計的に行うようにしている。

【0038】また、上記構成の液晶表示装置を用いて画像表示応用機器を構成することができる。

【0039】

【発明の効果】この発明の請求項1記載の液晶表示装置によれば、コンタクトホールの全部または一部に充填された状態で、コンタクトホール部位を覆うように柱状樹脂パターンを形成するので、コンタクトホール部位上に柱状樹脂パターンが重ねて形成され、柱状樹脂パターン

*に、パネルギャップ形成のための柱状樹脂(NN700、JSR(株)製)パターンを、前記カラーフィルタパターンのコンタクトホール部位に重ねて、3画素に2個の密度で形成する。この際、(コンタクトホール径) > (柱状樹脂パターン径) になるようにパターンを設計する。前記基板に、さらに配向膜パターンを形成、ラビングによる配向処理を施した後、同様に配向処理が施される対向基板とをシール樹脂を介し張り合わせ、空セルを形成する。空セルに真空注入法により液晶注入後、封口を行ない液晶パネルを作製する。この液晶パネルの表示むらを目視評価する。結果を表1に示す。

【0033】

【表1】

の基板への密着度が向上し、さらには基板表面段差が低減し、段差起因の液晶配向乱れを防止する。これにより、むらの無い高い表示品位の実現が可能となる。

【0040】請求項2では、樹脂膜がカラーフィルタであるので、カラーフィルタオンアレイ型液晶表示装置において請求項1の効果が得られる。

【0041】請求項3では、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) であるので、柱状樹脂パターンのアレイ基板側への取付け強度がより強く剥がれが生じない。

【0042】請求項4では、(コンタクトホール径) < (柱状樹脂パターン径) であるので、柱状樹脂パターンのアレイ基板側への取付け強度がより強く剥がれが生じない。

【0043】請求項5では、液晶ディスプレイ方式がTN方式である液晶表示装置に適用できる。

【0044】請求項6では、液晶ディスプレイ方式がIPS方式である液晶表示装置に適用できる。

【0045】請求項7では、光配向により配向処理する液晶表示装置に適用できる。

【0046】この発明の請求項8記載の液晶表示装置の製造方法によれば、コンタクトホールの全部または一部に充填された状態で、コンタクトホール部位を覆うように、TFTアレイ基板とこれに対向する対向基板との間にパネルギャップを形成するための柱状樹脂パターンを形成するので、柱状樹脂パターンの基板への密着度が向上し、さらには基板表面段差が低減し、段差起因の液晶配向乱れを防止する。これにより、むらの無い高い表示

品位の実現が可能となる。

【0047】この発明の請求項9記載の画像表示応用機器によれば、請求項1, 2, 3, 4, 5, 6または7記載の液晶表示装置を有するので、高輝度、高精細、かつ、表示むらが皆無な高品位液晶パネルが要求される画像表示応用機器に利用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1の実施の形態の液晶表示装置の断面図

【図2】この発明の第2の実施の形態の液晶表示装置の断面図

【図3】比較例1の液晶表示装置の断面図

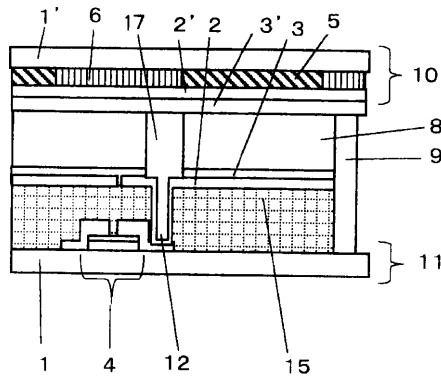
【図4】比較例2の液晶表示装置の断面図

【図5】従来例の液晶表示装置の断面図

【符号の説明】

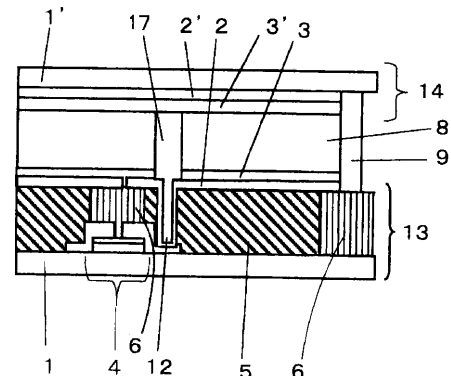
- 1, 1' ガラス基板
- 2, 2' 透明電極
- 3, 3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタパターン
- 6 ブラックマトリクス
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 10 カラーフィルタ基板
- 11 アレイ基板
- 12 コンタクトホール
- 15 平坦化樹脂膜
- 17 柱状樹脂パターン

【図1】



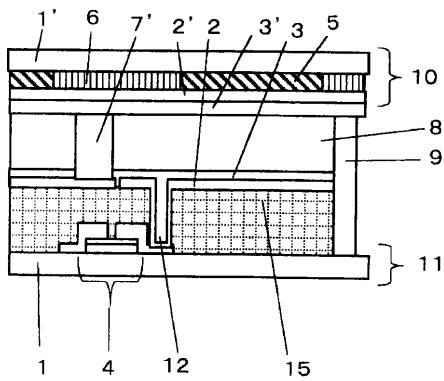
- 1, 1' ガラス基板
- 2, 2' 透明電極
- 3, 3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタパターン
- 6 ブラックマトリクス
- 17 柱状樹脂パターン
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 10 カラーフィルタ基板
- 11 アレイ基板
- 12 コンタクトホール
- 15 平坦化樹脂膜

【図2】



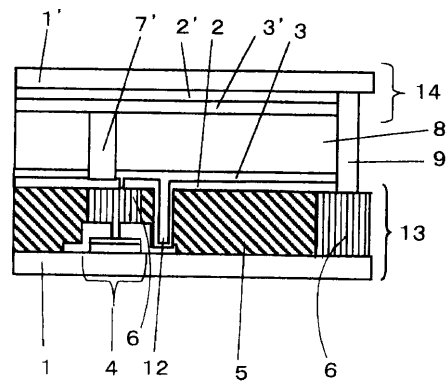
- 1, 1' ガラス基板
- 2, 2' 透明電極
- 3, 3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタパターン
- 6 ブラックマトリクス
- 17 柱状樹脂パターン
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 12 コンタクトホール
- 13 カラーフィルタオンアレイ基板
- 14 対向基板

【図3】



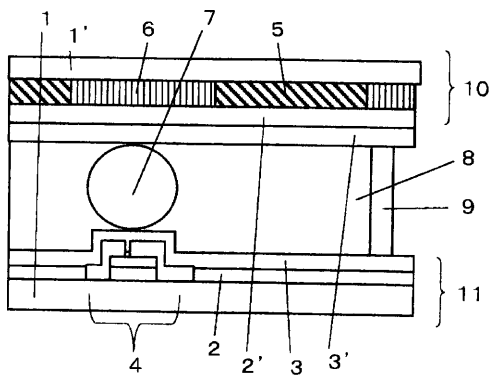
- 1、1' ガラス基板
- 2、2' 透明電極
- 3、3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタパターン
- 6 ブラックマトリクス
- 7' 柱状樹脂パターン
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 10 カラーフィルタ基板
- 11 アレイ基板
- 12 コンタクトホール
- 15 平坦化樹脂膜

【図4】



- 1、1' ガラス基板
- 2、2' 透明電極
- 3、3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタパターン
- 6 ブラックマトリクス
- 7' 柱状樹脂パターン
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 12 コンタクトホール
- 13 カラーフィルタオンアレイ基板
- 14 対向基板

【図5】



- 1、1' ガラス基板
- 2、2' 透明電極
- 3、3' 配向膜
- 4 スイッチング能動素子
- 5 カラーフィルタ
- 6 ブラックマトリクス
- 7 スペース
- 8 液晶
- 9 シール剤
- 10 カラーフィルタ基板
- 11 アレイ基板

フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-コード (参考)
G 0 9 F 9/30	3 3 8	G 0 9 F 9/30	3 3 8

F タ-ム (参考) 2H089 LA09 LA10 LA11 LA12 LA16
 LA19 MA03X
 2H090 MB01 MB12
 2H091 FA02Y FB02 FD06 FD12
 GA06 GA07 GA08 GA13 GA16
 HA07 HA18 LA02 LA13 LA30
 2H092 JA46 JB58 NA04 NA18 PA03
 PA08 QA07 QA18
 5C094 AA03 AA42 AA43 AA55 BA03
 BA43 BA44 CA19 CA23 DA13
 DA15 EA03 EA04 EA07 EC03
 ED02 FA02 FB01 FB15 GA10
 GB01

专利名称(译)	液晶显示装置及其制造方法和图像显示应用装置		
公开(公告)号	JP2002169166A	公开(公告)日	2002-06-14
申请号	JP2000369777	申请日	2000-12-05
申请(专利权)人(译)	松下电器产业有限公司		
[标]发明人	吉田正典 松川秀樹		
发明人	吉田 正典 松川 秀樹		
IPC分类号	G02F1/1339 G02F1/1335 G02F1/1337 G02F1/1368 G09F9/30		
FI分类号	G02F1/1339.500 G02F1/1335.505 G02F1/1337 G02F1/1368 G09F9/30.320 G09F9/30.338		
F-TERM分类号	2H089/LA09 2H089/LA10 2H089/LA11 2H089/LA12 2H089/LA16 2H089/LA19 2H089/MA03X 2H090/MB01 2H090/MB12 2H091/FA02Y 2H091/FB02 2H091/FD06 2H091/FD12 2H091/GA06 2H091/GA07 2H091/GA08 2H091/GA13 2H091/GA16 2H091/HA07 2H091/HA18 2H091/LA02 2H091/LA13 2H091/LA30 2H092/JA46 2H092/JB58 2H092/NA04 2H092/NA18 2H092/PA03 2H092/PA08 2H092/QA07 2H092/QA18 5C094/AA03 5C094/AA42 5C094/AA43 5C094/AA55 5C094/BA03 5C094/BA43 5C094/BA44 5C094/CA19 5C094/CA23 5C094/DA13 5C094/DA15 5C094/EA03 5C094/EA04 5C094/EA07 5C094/EC03 5C094/ED02 5C094/FA02 5C094/FB01 5C094/FB15 5C094/GA10 5C094/GB01 2H092/JA26 2H092/KB26 2H189/DA07 2H189/DA22 2H189/DA48 2H189/DA49 2H189/EA02X 2H189/FA14 2H189/FA31 2H189/HA16 2H189/JA05 2H189/JA14 2H189/LA10 2H189/LA14 2H191/FA02Y 2H191/FB02 2H191/FD07 2H191/FD20 2H191/FD32 2H191/GA08 2H191/GA10 2H191/GA11 2H191/GA19 2H191/GA22 2H191/HA06 2H191/HA27 2H191/LA02 2H191/LA15 2H191/LA40 2H192/AA24 2H192/BC34 2H192/EA02 2H192/EA22 2H192/EA42 2H192/EA43 2H192/EA67 2H192/GD23 2H192/HA33 2H192/JA06 2H192/JA32 2H290/AA15 2H290/AA72 2H290/BB13 2H290/BF13 2H290/BF23 2H290/CA12 2H290/CA46 2H290/DA01 2H291/FA02Y 2H291/FB02 2H291/FD07 2H291/FD20 2H291/FD32 2H291/GA08 2H291/GA10 2H291/GA11 2H291/GA19 2H291/GA22 2H291/HA06 2H291/HA27 2H291/LA02 2H291/LA15 2H291/LA40		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

解决的问题：通过改善柱状树脂图案对基板的粘附程度，抑制柱状树脂图案的剥离并减少显示不均匀。 解决方案：在TFT阵列基板10上形成树脂膜15，在其上形成用于驱动像素电极的开关有源元件4，并且通过在树脂膜15中形成的接触孔12形成开关有源元件4。一种用于与形成在树脂膜15上的像素电极2接触的液晶显示装置，其中，在填充有全部或部分接触孔12的状态下，以覆盖接触孔12的一部分的方式形成有柱状的树脂图案17。形成。从而，以在接触孔12部分上重叠的方式形成柱状树脂图案17，改善了柱状树脂图案17对基板的粘附程度，同时，减少了基板表面台阶，并且防止了由于该台阶引起的液晶取向紊乱。。结果，可以实现高显示质量而没有不均匀性。

